

文部科学省に「学校における子どもの権利保障」に関する提言を手交しました^[OBJ]

📅 2023年6月14日 👤 wpmaster 🗨 Off 📋 お知らせ, 事務局



日本若者協議会では、2022年9月に、「こども基本法」施行後を見据え、当事者である児童生徒が中心となり、子どもの権利を尊重した学校とはどのような姿なのか、どのように教育を変えていくべきなのか、提言を作成するための検討会議である「学校における子どもの権利保障を考える検討会議」を設置しました。

検討会議には、小学生3名、中学生7名、高校生10名、大学生・大学院生4名の計24名が委員として議論に参加し、専門家・実践者へのヒアリングを行いました。また、教員の立場の意見も聞けるように、オブザーバーとして、中学校教諭、高校教諭の計2名にも参加してもらいました。

検討会議の議論内容を踏まえ、(1)子どもの声が聴かれる学校へ、(2)子どもの主体性が尊重される学校へ、(3)子どもが自らの権利を知ることのできる学校へ、(4)子どもの安全を守る学校へ、(5)それらを実現するための環境整備の観点から提言をまとめました。

そして6月14日、文部科学省を代表して、伊藤孝江文部科学大臣政務官に提言を提出しました。

提言内容→

https://drive.google.com/file/d/13pSZ4SsjNLhpF_lneDQZBzAYsPaxrm60/\usp=sharing





また今後、各テーマをより深掘りしていくために、順次イベントを開催していきます。

まずは、子どもの主体性に大きく影響を与えている「内申書と高校入試」のあり方（是非）について議論を行います。



The poster features a red background with white text. On the right, there is an illustration of two women sitting at a table, one holding a laptop. Above them are three icons: a shield with a star, a bar chart with an upward arrow, and a plant with a gear. The text on the left reads: '内申書・高校入試は必要なのか？' (Do internal recommendation letters and high school entrance exams really need to be?), '子どもの最善の利益から考える' (Thinking from the best interests of children), '7月22日（土）19時～21時' (July 22nd (Sat) 19:00-21:00), and '日本若者協議会主催 シンポジウム' (Symposium organized by the Japanese Youth Conference).

7/22「内申書・高校入試は必要なのか？子どもの最善の利益から考える」シンポジウム開催のお知らせ

[OBJ]

学校で子どもの権利が保障されていないのではないか、子どもの意見表明権や子どもの最善の利益が尊重されていないのではないか。日本若者協議会では、そうした問題意識から、2022年9月に、「こども基本法」施行後を見据え、当事者 ... 続きを読む

MC 日本若者協議会

◆ 学校における子どもの権利保障を考える検討会議 ◆ 教育 ◆ 校則